

第6期恵庭市総合計画 分野別まちづくりワークショップ 保健・医療・福祉・スポーツ分野

日時：令和6年8月23日（金）10：00～12：00
場所：恵庭市民会館 大会議室

恵庭市を取り巻く環境について共有を行い、各分野の「恵庭らしさと、10年後のまちについて」、「10年後のまちにむけて私達ができること」、「持続可能なまちのために」をテーマとし、ワークショップを行いました。22名の市内各種団体の皆様にご参加いただきました。



Aグループ

分野別WS 保健・医療福祉・スポーツ

Aグループ

○恵庭らしさと10年後のまち

市民WS

- ・まちに人が活きやすいまち
- ・人びとが感じること
- ・近隣のまちと共同の発展

便利

遠征
あり

子育て
しやすい

住みやすい

色んな
住みか

災害
強い

意識
気持
バリエ
多様な
ニーズ

既覚
者の
理解

高齢者の元
気ばか
スポーツ
しやすい
まち
スポーツ
観望の
まち

ボランティア
に頼り
ない

助け合い
支え合い

SOS
出陣

地域で
国・道
の
まち

SOS
医療と介護
の
まち

○10年後のまちに向け 私達がやること

○持続可能なまちのため

アクション
しつづける
(自分達の役割)

お金
が
補助金!!

コミュニケーション
積極的な
働き
人との
関わり
大事

自分達の
課題
に
自分ごと
として
取り組む
(40歳以上の
まち)

高齢者
の
生活
の
課題
社会
福祉
の
課題
・灯油
・コミュニケーション
の
課題
若者
の
課題

お金
システム
やる
ための
仕組み
を
整える
必要

後継者
育成

後継者の
育成
の
課題

組織
を
スタート
に
(何
も
ない
状態)

コミュニケーション
(日常
の
関わり)

私達は
貴重
な
存在

自分
の
役割

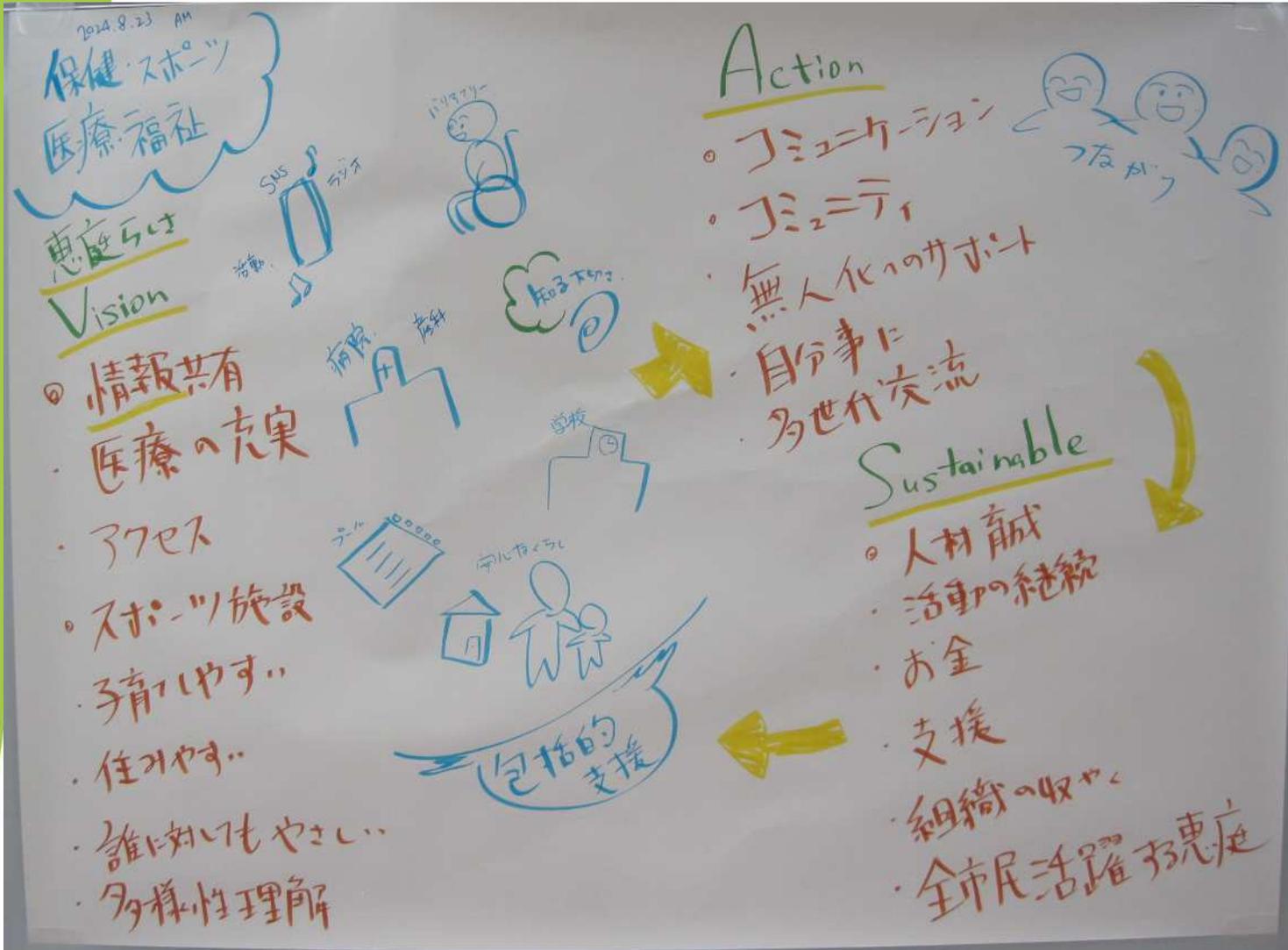
市民への
関わり
の
大切さ

分界
横た

共生
の
まち

- ・恵庭は、札幌が近く、災害が少なく、子育てがしやすく、住みやすいまち
- ・10年後について考えると気持ちの上でのバリアフリーがもっと広がるといい、障がい者への理解がもっと広がればいい。助け合い、支え合いが広がるまち、地域で困っていることがあれば、助けてほしいことを気軽に話ができるようになるといい
- ・子どもから高齢者まで、幅広い世代においてスポーツがしやすいまちになればいい
- ・それぞれの分野においてしっかり役割を果たし、活動を継続できるようにしていくには、行政からの支援も必要
- ・高齢者、障がい者が抱える課題を我が事として考えていかなければならない。日常的な情報の提供の仕組みづくりが必要
- ・情報を広く市民に周知できるようにしていく必要がある
- ・様々な活動を継続していく為には、後継者育成が必要。日常的に関係性を築きながら、徐々に後継者になってもらう
- ・障がい者、高齢者、子どもは、各分野で支援する施設やサービスがあるが、バラバラではなく、子どもから高齢者まで安心して住み続けられるような施設があるといい

まとめ



<恵庭らしさと10年後のまち>

- ・キーワードとしてあげられたのは、「情報共有」「医療の充実」「アクセス」「スポーツ施設」「子育てしやすい」「住みやすい」「誰に対しても優しい」「多様性理解」であった
- ・3つのグループから共通したキーワードが「情報共有」だった。情報といっても色々あり、例えば、こういった情報はSNSで発信し、充実をはかるということでもいいが、音声での発信も忘れずに行った方がよいとの話があった。また、それぞれの活動を知ってもらう為に必要な情報発信、暮らしに関わる情報発信の必要性についても意見があげられた

<10年後のまちに向けて私達ができること>

- ・キーワードとしてあげられたのは、「コミュニケーション」「コミュニティ」「無人化のサポート」「自分事」「多世代交流」であった
- ・市民同士のつながりを持てるようコミュニケーションをはかり、様々な世代の方と交流することも必要であるとの意見等があげられた

<持続可能なまちのために>

- ・キーワードとしてあげられたのは、「人材育成」「活動の継続」「お金」「支援」「組織の集約」「全市民が活躍する恵庭」であった
- ・持続可能なまちとする為、また若者に今後活躍してもらう為には人材育成が必要である。これまでの様々な活動も継続していけるようにしなければならないということ、その他、多数ある似たような組織は、少子高齢化や人材不足の現状をふまえて集約するといった見直しも必要との話もあった。なお、様々な活動を続けていくためにはやはりお金が大事という話もあった
- ・全市民が活躍するまちにしていくことが必要であるとの意見があげられた